

## 概略施設配置図の作成方針について

## 1. 概略施設配置図の作成方針

概略施設配置図を作成するにあたり、配置検討方針を以下のとおり設定した。

## ■ 配置検討方針

## (1) 埋立容量を確保できる造成形状

埋立容量約 5.7 万 m<sup>3</sup> を確保できる造成形状とする。

## (2) 動線の確保

廃棄物の搬入の流れにしたがって、場内の搬入車両が円滑に移動できるような動線を確保する。

## (3) 関連施設の効率的な配置

管理施設や浸出水処理施設、浸出水貯留施設等の関連施設は、効率的な運用が可能となるよう配置する。

## 2. 施設配置検討における条件

概略施設配置図を作成するにあたり、各施設の概要及び基本条件について整理した。

なお、各施設の基本条件は、現段階で概略設定するものであり、基本構想策定時に再検討する。

## ■ 施設の種類

- ・ 埋立地
- ・ 貯留構造物
- ・ 浸出水処理施設
- ・ 浸出水貯留施設
- ・ 防災調整池
- ・ 搬入道路
- ・ 管理施設

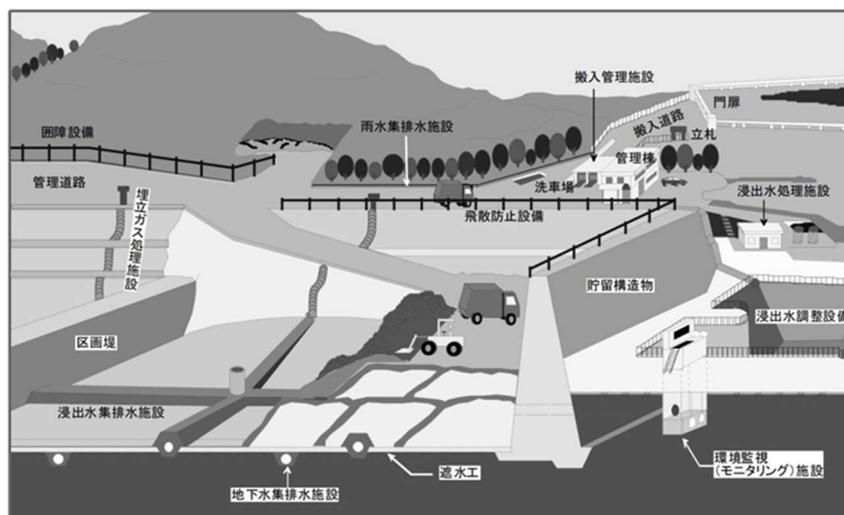


図 1 最終処分場施設配置例 ((社) 全国都市清掃会議、1989 を一部修正)

### (1)埋立地

廃棄物及び覆土を埋め立てる施設である。次期最終処分場では、必要埋立容量(5.7万 $m^3$ )を確保できるような埋立地を造成する。造成の形状、地質条件等により法面勾配は異なるが、ここでは、切土面は切土の標準勾配である1:1.5とし、盛土面は盛土の安定勾配である1:2.0とする。また、小段幅は1.5mとする。

- ・切土勾配：1：1.5（切土の標準勾配）
- ・盛土勾配：1：2.0（盛土の安定勾配）
- ・小段幅：1.5m

### (2)貯留構造物

貯留構造物は、埋立廃棄物の流出や崩壊を防ぎ、埋立対象物を安全に貯留する目的で設置する。貯留構造物の構造形式は、その高さ、地盤条件、埋立形式等により異なるが、基本は、堰止め形式とし、人工的な堰堤を下流側に設置することとする。

- ・構造形式：堰止め形式

### (3)浸出水処理施設

浸出水処理施設は、埋立地内の浸出水集排水施設によって集められた浸出水を処理し、放流先の水域及び地下水を汚染しないようにする目的で設置する。浸出水処理施設の処理能力は、発生した浸出水や浸出水貯留施設に貯留した浸出水を処理することができるよう設定する。ここでは、浸出水量を埋立面積及び降水量に基づき50 $m^3$ /日と設定し、処理能力は一般的に必要なとされる150 $m^3$ /日とした。

- ・処理能力：150 $m^3$ /日
- ・施設面積：900 $m^2$ (30m×30m)

### (4)浸出水貯留施設

浸出水貯留施設は、浸出水の水質を均質化し、浸出水量の変動に対して安定的に浸出水処理を行う目的で設置する。浸出水貯留施設の貯留容量は、浸出水処理施設の処理能力を超過する浸出水量を貯留できるよう設定する。ここでは、貯留構造物下流側に4,500 $m^3$ (30m×30m×5m)の浸出水貯留施設を設けることとする。

- ・容量：4,500 $m^3$
- ・施設面積：900 $m^2$ (30m×30m)

#### (5) 防災調整池

防災調整池は、最終処分場の造成に伴う河川流域における雨水流出量の増大を抑制する目的で設置する。「廃棄物最終処分場整備の計画・設計・管理要領」では、目安として流域面積 1ha あたり 500～1,500m<sup>3</sup> 程度の調整池が必要であるとされている。ここでは、流域面積を 8.0ha（埋立面積に占める流域面積は日向市一般廃棄物最終処分場と同程度）と想定し、防災調整池の容量を  $8\text{ha} \times 1500\text{m}^3/\text{ha} = 12,000\text{m}^3$  とする。

- ・ 容量：12,000m<sup>3</sup>
- ・ 施設面積：3,000m<sup>2</sup>(50m×60m、高さ 4m)

#### (6) 搬入道路

搬入道路は幹線道路から埋立地に至るまでの道路である。搬入道路は、搬入車両が離合できる道路幅員を確保することを前提とし、道路幅 7m（車道 2 車線（2.75m×2）+ 路肩（0.5m×2）+ 保護路肩（0.5m））とする。

- ・ 道路幅：7m

#### (7) 管理施設

管理施設は、搬入や埋立、浸出水処理施設の状況を統合管理する目的で設置する。ここでは、管理施設の施設面積を 400m<sup>2</sup>(20m×20m)と設定する。

- ・ 施設面積：400m<sup>2</sup>(20m×20m)

表 1 概略施設配置検討における基本条件

| 施設      | 基本諸元   |
|---------|--|
| 埋立地     | <ul style="list-style-type: none"> <li>切土勾配：1：1.5（切土の標準勾配）</li> <li>盛土勾配：1：2.0（盛土の安定勾配）</li> <li>小段幅：1.5m</li> </ul> |
| 貯留構造物   | <ul style="list-style-type: none"> <li>構造形式：堰止め形式</li> </ul>   |
| 浸出水処理施設 | <ul style="list-style-type: none"> <li>処理能力：150m<sup>3</sup>/日</li> <li>施設面積：900m<sup>2</sup>(30m×30m)</li> </ul>    |
| 浸出水貯留施設 | <ul style="list-style-type: none"> <li>容量：4,500m<sup>3</sup></li> <li>施設面積：900m<sup>2</sup>(30m×30m)</li> </ul>      |
| 防災調整池   | <ul style="list-style-type: none"> <li>容量：12,000m<sup>3</sup></li> <li>施設面積：3,000m<sup>2</sup>(50m×60m)</li> </ul>   |
| 搬入道路    | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路幅：7m</li> </ul>   |
| 管理施設    | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設面積：400m<sup>2</sup>(20m×20m)</li> </ul>                                     |

### 3. 概略施設配置図例

概略施設配置図を以下に示す。

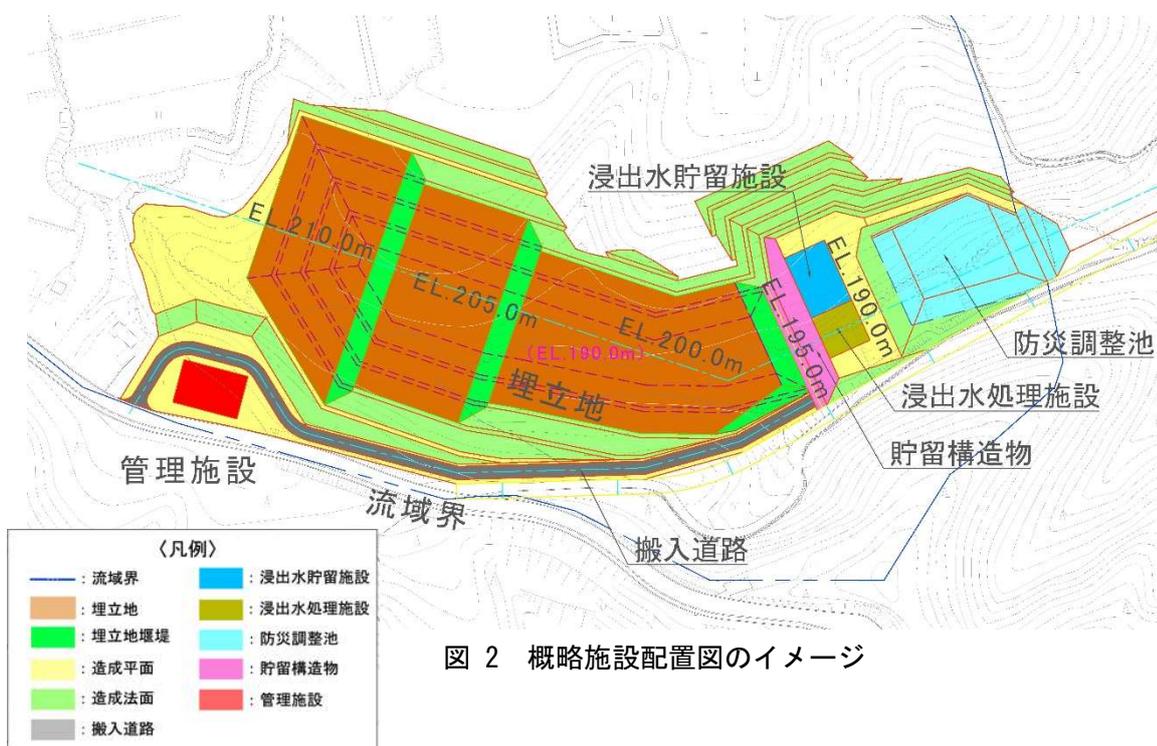


図 2 概略施設配置図のイメージ